

区立下北沢保育園跡地の活用について

1 主旨

令和2年5月27日の福祉保健常任委員会にて報告した「今後の保育施設整備の進め方等について」では、公有地を活用した整備案件の継続および令和4年度以降の開園に向けた新規施設整備を見込んだところである。建築から56年が経過している区立下北沢保育園は、区立守山保育園に移転統合し北沢地域の拠点園となることから、令和3年4月に現在地は跡地となる。

今般、移転後の区立下北沢保育園の活用について取りまとめたので、報告する。

2 区立下北沢保育園跡地の活用

(1) 概要

①敷地面積：約1,050㎡

②想定定員：100名程度（0歳児または1歳児から5歳児）

③必要経費：建物解体経費 4,500万円

擁壁解体・新設工事費 2,500万円

建物解体設計費 1,000万円

※いずれも令和3年度当初予定、概算

④開園予定：令和5年4月

(2) 区立下北沢保育園跡地の保育需要等

①下北沢駅から徒歩5分の立地にあり、保育施設として適地である。

②就学前人口や入園できていない世帯が多く、保育需要が高い地域である。

③周辺に保育施設が少なく、他にまとまった土地を確保できる地域ではない。

(3) 跡地の活用について

引き続き保育施設の必要な地域であることから、令和3年度に既存建物を解体し、その後、保育運営事業者を公募の上、令和5年4月の開園とする。なお、令和2年3月に取りまとめた「世田谷区における夜間帯保育のあり方について」に基づき、当該跡地の立地条件を踏まえ、4時間以上延長保育の実施を目指す。

3 今後のスケジュール（予定）

令和2年9月 福祉保健常任委員会報告

令和3年2月 保育運営事業者公募

令和3年度～ 下北沢保育園園舎解体

令和4年度～ 私立認可保育園整備

令和5年4月 開園

4 所在地（代沢 5 - 3 4）

